

事務事業名	公共土木施設災害復旧事業(H24災)	所属部	建設部	所属課	建設事業課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉	所属G	工務グループ	課長名	藤原重信
	施策名	〈07〉道路網の整備	担当者名	井上芳樹	電話番号	0854-40-1063 (内線) 3739
	目的	对生活道路(市道・一般県道)の利用者	意図	市内を安全で迅速に移動できるようにする。	予算科目	会計 015503 大事業名 010101 中事業名 010101 大事業名 010101 中事業名 010101
	基本事業名	〈019〉道路の補修・維持管理			現年公共土木施設災害復旧事業	現年公共土木施設災害復旧事業
目的	对生活道路	意図	適正に維持管理する。			

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 24 年度～ 26 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
公共災害復旧事業は、市管理の河川、道路が特定の雨などにより被災を受けた場合、復旧するものであり、過年災害は対象とならない。制度として国の補助を受けて行う事業、市の単費で行う事業がある。災害復旧の基準としては、日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上で、河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要。また、補助対象は事業費が60万円以上である。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		工事発注・監督 150箇所 完成検査済 74箇所	繰越箇所76箇所の完成検査・精算 施越分の、負担金要望 24年度成功認定を受検する。			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 発注箇所	箇所			150	0
	イ 完了箇所	箇所			74	76
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	災害発生箇所	ア 発生箇所	箇所			150	0
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。	ア 発注率	%			100.0	0.0	
	イ 完了率	%			49.0	100.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
【H23繰】 工事請負費 28,736千円 単独費 87千円 【H24】 委託料 24,128千円 工事請負費 169,474千円 補償費 2,646千円 単独費 8,366千円 計 233,437千円	財源内訳	国庫支出金	千円			144,351	96,642
		県支出金	千円				
		地方債	千円			84,900	48,700
		その他	千円				
	一般財源	千円			4,186	61,758	
	事業費計(A)	千円			233,437	207,100	
	人件費	正規職員従事人数	人			4	
		延べ業務時間	時間			2,460	
		人件費計(B)	千円			9,638	
		トータルコスト(A)+(B)	千円			243,075	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
災害前の維持管理体制の確立と、査定までの事務の効率化を図る必要がある。	道路巡回パトロール体制の整備に向けた体制づくりを行うと共に、担当職員の負担軽減のため測量設計の外部委託を行った。	生活に直結する市道、河川護岸の災害については、いつも早急な復旧が望まれる。

事務事業名	公共土木施設災害復旧事業(H24災)	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 早期復旧のためには測量設計の外部委託による事務の効率化が有効である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 道路河川の復旧ができず利用者の利便性、安全性の確保ができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 復旧すべき施設が事業により異なるため統廃合は難しい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 原形復旧が原則であり、復旧工法も経済比較により決定している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 測量設計など外部委託は可能である。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 市管理の道路、河川であり住民負担はない。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・災害発生から2ヶ月で査定完了し、早期実施に努める。 ・初年度での全箇所工事発注、完了に努める。 ・日常の維持管理が重要である。 ・災害の規模にもよるが、直営による測量設計では限界もあることから、早期実施に向けては外部委託が必要となる。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>災害復旧事業は異常な天然現象によるものであるため、事業量の把握は困難であるが、事務の効率化を図るうえでも、測量設計の外部委託を行いたい。</p>																			
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			